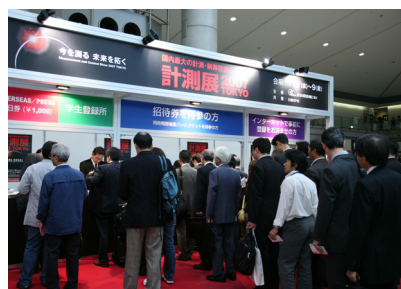




国内最大の計測・制御技術の専門展

計測展 2007 TOKYO

終了報告書



○はじめに

拝啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の「計測展2007 TOKYO」の開催に当たりましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰様をもちまして盛況裡に無事終了致しました。これもひとえに出展者各位、並びにご支援の関係官公庁のご協力によるものと、主催者といたしまして深く感謝しております。

ここに、本展の開催結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

今後共、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

平成19年12月

(社)日本電気計測器工業会/日経BP社

○目次

○はじめに	1
○開催概要	2
○プロモーション活動	4
○基調講演/専門カンファレンス/チュートリアル	5
○テクニカルセミナー	7
○JEMIMA委員会セミナー	9
○出展企業/団体一覧	10
○会場案内図	11
○来場者アンケート結果	13



○開催概要

1. 開催概要

(1) 名称・テーマ

名 称: 計測展2007 TOKYO
テ ー マ: 「今を測る 未来を拓く」

(2) 会期・会場

会 期: 2007年11月7日(水)～9日(金) 3日間
開催時間: 10:00～17:00
会 場: 東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場) 西1-2ホール

(3) 主 催

社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)

(4) 共 催

日経BP社

(5) 後 援

文部科学省、経済産業省、環境省

(6) 協 賛

(独)産業技術総合研究所、(独)製品評価技術基盤機構、日本電気計器検定所、
(財)日本品質保証機構、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)、(社)計測自動制御学会、
(社)日本機械学会、(社)日本計量機器工業連合会、(社)日本電機工業会、
(社)日本電気制御機器工業会、(社)日本分析機器工業会

(7) 入 場 料

1,000円(消費税込み)
(事前登録の場合無料)

(8) 併催事業

基調講演、専門カンファレンス、チュートリアル、JEMIMA委員会セミナー、テクニカルセミナー

(9) 計測展2007 TOKYO 実行委員会

株式会社アドバンテスト
アンリツ株式会社
岩通計測株式会社
菊水電子工業株式会社
株式会社島津システムソリューションズ
株式会社チノー
株式会社東芝
富士電機システムズ株式会社
株式会社堀場製作所
株式会社山武
横河電機株式会社

2. 開催結果概要

(1) 展示規模

- ① 総数: 141社(機関・委員会含) 462小間
 (内訳) 国内: 133社(機関・委員会含) 450小間
 海外: 8社 12小間

② 企画別内訳

企画名	出展企業・団体数			小間数		
	国内	海外	合計	国内	海外	合計
1 製品展示	94	7	101	400	11	411
① 正会員	(35)		(35)	(293)		(293)
② 賛助会員	(7)		(7)	(23)		(23)
③ 一般	(52)	(7)	(59)	(84)	(7)	(91)
2 トライアルブース	21	1	22	21	1	22
3 独立法人・関連機関	5		5	9		9
4 書籍販売コーナー	6		6	9		9
5 JEMIMAコーナー	3		3	7		7
6 大学パネル展示コーナー	4		4	4		4
合計	133	8	141	450	12	462

(2) 併催事業規模

- ① 基調講演: 3テーマ
454名(151名/1テーマ平均)
- ② 専門カンファレンス: 3テーマ
229名(76名/1テーマ平均)
- ③ チュートリアル: 3テーマ
198名(66名/1テーマ平均)
- ④ JEMIMA委員会セミナー: 3テーマ
372名(124名/1テーマ平均)
- ⑤ テクニカルセミナー: 18社(委員会含)・45テーマ
1766名(39名/1テーマ平均)

(3) 参加国・地域数

6カ国・地域: 中国、ドイツ、韓国、台湾、米国、日本

(4) 来場者数: 23,488名

月日・天候	来場者数
11月7日(水)・晴	6,854名
11月8日(木)・晴	7,642名
11月9日(金)・曇	8,992名
合計	23,488名



○プロモーション活動

1. ダイレクトメール、その他印刷物

(1) 出展者配付

DM(案内状:和・英)、ポスター

(2) 主催者発送

前回来場者リスト、日経BP社読者リストによるDM発送、および、「新製品情報」との同梱発送

2. 雑誌・新聞広告

(1) 関連業界誌

計装/計測技術/計測と制御/トランジスタ技術/JEMIMA会報(2回)/エレクトロニクス電子計測技術

(2) 日経BP社および日本経済新聞社媒体紙誌

① 出展募集広告: 日経産業新聞

② 開催告知広告

・日経エレクトロニクス	3回
・日経ものづくり	3回
・日経マイクロデバイス	2回
・日経Automotive Technology	1回
・日本経済新聞(朝刊)	1回
・日経産業新聞	2回

3. 公式ウェブサイト

展示会の公式サイトを開設し広く情報を公開し、事前登録を受け付けるとともに、出展者のホームページへのリンクを設定した。

- ・日本電気計測器工業会 <http://www.jemima.or.jp/>
- ・日経BP社 <http://expo.nikkeibp.co.jp/jemima/>

4. 来場者向け発行物

- ・公式ガイドブック
- ・会場案内マップ

5. インターネット広告

(1) 日経BP社が運営するWeb媒体へのバナー広告掲載

Tech-On! 日経エレクトロニクス、日経Automotive Technology(以上雑誌サイト)
機械・メカトロニクス、産業動向オブザーバ、Automotive Technology、機械・メカトロニクス、
ブロードバンド・インタフェース、モバイル(以上テーマサイト)、計測クローズアップサイト、Tech-On!

(2) 日経BP社が発行するメール媒体へのテキスト広告掲載

nikkeibp NET mail 朝刊、IT Pro-News/Report、日経エレクトロニクスNEWS、日経マイクロデバイスNEWS
日経ものづくりONLINEメール、BTJ/HEADLINE/NEWS、日経Automotive Technology NEWS

6. メール配信

(1) 展示会来場者向けに開催告知メールを配信(2回)

計測展2005 TOKYO来場者

(2) 日経BP社が発行するメール・雑誌媒体などの読者向けに開催告知メールを配信

・日経エレクトロニクス(NEWS)・日経ものづくりNEWSメール・日経Automotive Technology
・ターゲティングメール 以下のテーマサイトから「計測」関連ワードにより対象者抽出:
ものづくりとIT/機械・メカトロ/AT、組み込み開発/電子部品テクノロジー
/デジタル家電、デジタル家電/カーエレ/産業動向、AT/モバイル/ブロードバンド、

(3) 計測展2007 TOKYO事前登録者向けにカウントダウンメールを配信

来場率を高めるため、見どころなどの最新情報を3回配信

7. 学生来場向けプロモーション

バナー広告(日経ナビ): 日経ナビTOPページ、スペシャルメール(日経ナビ): 理工系学生(3年生)、一都三県理系(4年生)、理工系担当教授向けポスター・チケット発送

8. 展示会場でのパンフレット配布

イノベーション・ジャパン2007、バイオジャパン2007、FPD International 2007

○基調講演

基調講演

展示会場内 特設会場 受講料:無料

11月7日 (水)	KN1	11:00~12:30
	<p>先端技術の計測への応用</p> <p>未来を拓く最先端計測技術</p> <p>バイオ・センサの開発と国際テロ対策への応用</p> <p>九州大学 大学院 システム情報科学研究院 電子デバイス工学部門 教授 都甲 潔 氏</p>	
11月8日 (木)	KN2	11:00~12:30
	<p>高速ワイヤレス通信技術と計測</p> <p>ワイヤレス通信社会の未来と日本の役割</p> <p>情報化社会のグローバル化とローカル主義</p> <p>早稲田大学 大学院 国際情報通信研究科 教授 国際情報通信研究センター 副所長 佐藤 拓朗 氏</p>	
11月9日 (金)	KN3	11:00~12:30
	<p>ものづくりと計測</p> <p>東アジアにおける 製造業ネットワークの形成と 日本企業のポジショニング</p> <p>東京大学 大学院 経済学研究科 准教授 ものづくり経営研究センター(MMRC) 研究ディレクター 新宅 純二郎 氏</p>	



○専門カンファレンス/チュートリアル

専門カンファレンス

会議棟 101、609、610会議室

受講料: 前売り8,000円 当日10,000円

チュートリアル

会議棟 609、610会議室

受講料: 前売り8,000円 当日10,000円

<table border="1"> <tr> <td data-bbox="103 374 220 427">C1</td> <td data-bbox="220 374 798 427">13:30~16:30</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="103 427 798 963"> <p>バイオ・医療で進む新計測市場 光トポグラフィの創発からウェアラブル光トポグラフィまで (株)日立製作所 基礎研究所 小泉フェロー戦略プロジェクト 主管研究員 牧 敦 氏</p> <p>市場広がるノート型超音波画像診断装置 — ユビキタス超音波診断装置 — GE横河メディカルシステム(株) 執行役員 クリニカルシステム ジャパン 東泉 隆夫 氏</p> <p>ライブセルイメージング研究を支える計測技術 横河電機(株) ライフサイエンス事業部 創薬・バイオセンター長 御厨 健太 氏</p> </td> </tr> </table>	C1	13:30~16:30	<p>バイオ・医療で進む新計測市場 光トポグラフィの創発からウェアラブル光トポグラフィまで (株)日立製作所 基礎研究所 小泉フェロー戦略プロジェクト 主管研究員 牧 敦 氏</p> <p>市場広がるノート型超音波画像診断装置 — ユビキタス超音波診断装置 — GE横河メディカルシステム(株) 執行役員 クリニカルシステム ジャパン 東泉 隆夫 氏</p> <p>ライブセルイメージング研究を支える計測技術 横河電機(株) ライフサイエンス事業部 創薬・バイオセンター長 御厨 健太 氏</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="798 374 930 427">T1</td> <td data-bbox="930 374 1453 427">13:30~16:30</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="798 427 1453 963"> <p>計測技術者が知っておくべきアナログ回路の基礎 Part1-電子計測者のためのアナログ技術再入門 群馬大学 大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 教授 小林 春夫 氏</p> <p>Part2-測定器の持つ誤差と使い方による誤差 アジレント・テクノロジー・インターナショナル(株) 半導体パラメトリックテスト事業部 シニアエンジニア 小室 貴紀 氏</p> <p>Part3 -オシロスコープのプロブの使い方とバス解析 横河電機(株) 通信・測定器事業部 高周波計測開発センター センター長 金子 洋 氏</p> </td> </tr> </table>	T1	13:30~16:30	<p>計測技術者が知っておくべきアナログ回路の基礎 Part1-電子計測者のためのアナログ技術再入門 群馬大学 大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 教授 小林 春夫 氏</p> <p>Part2-測定器の持つ誤差と使い方による誤差 アジレント・テクノロジー・インターナショナル(株) 半導体パラメトリックテスト事業部 シニアエンジニア 小室 貴紀 氏</p> <p>Part3 -オシロスコープのプロブの使い方とバス解析 横河電機(株) 通信・測定器事業部 高周波計測開発センター センター長 金子 洋 氏</p>	
C1	13:30~16:30								
<p>バイオ・医療で進む新計測市場 光トポグラフィの創発からウェアラブル光トポグラフィまで (株)日立製作所 基礎研究所 小泉フェロー戦略プロジェクト 主管研究員 牧 敦 氏</p> <p>市場広がるノート型超音波画像診断装置 — ユビキタス超音波診断装置 — GE横河メディカルシステム(株) 執行役員 クリニカルシステム ジャパン 東泉 隆夫 氏</p> <p>ライブセルイメージング研究を支える計測技術 横河電機(株) ライフサイエンス事業部 創薬・バイオセンター長 御厨 健太 氏</p>									
T1	13:30~16:30								
<p>計測技術者が知っておくべきアナログ回路の基礎 Part1-電子計測者のためのアナログ技術再入門 群馬大学 大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 教授 小林 春夫 氏</p> <p>Part2-測定器の持つ誤差と使い方による誤差 アジレント・テクノロジー・インターナショナル(株) 半導体パラメトリックテスト事業部 シニアエンジニア 小室 貴紀 氏</p> <p>Part3 -オシロスコープのプロブの使い方とバス解析 横河電機(株) 通信・測定器事業部 高周波計測開発センター センター長 金子 洋 氏</p>									
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="103 963 220 1041">C2</td> <td data-bbox="220 963 798 1041">13:30~16:30</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="103 1041 798 1556"> <p>高速ワイヤレス通信と最新の計測技術 Mobile WiMAXの動向と最新の測定技術 アジレント・テクノロジー(株) 電子計測本部 マーケティングセンター WBUマーケット・ディベロップメント・マネージャ 北野 元 氏</p> <p>802.11n/MIMOの最新信号解析技術 日本テクトロニクス(株) 営業統括本部 営業技術統括部 RTSA 営業推進部 AE課 課長 篠瀬 吉男 氏</p> <p>UWB無線の動向と最新測定技術 アンリツ(株) コアテクノロジーR&Dセンター ワイヤレス計測技術開発部長 内野 政治 氏</p> </td> </tr> </table>	C2	13:30~16:30	<p>高速ワイヤレス通信と最新の計測技術 Mobile WiMAXの動向と最新の測定技術 アジレント・テクノロジー(株) 電子計測本部 マーケティングセンター WBUマーケット・ディベロップメント・マネージャ 北野 元 氏</p> <p>802.11n/MIMOの最新信号解析技術 日本テクトロニクス(株) 営業統括本部 営業技術統括部 RTSA 営業推進部 AE課 課長 篠瀬 吉男 氏</p> <p>UWB無線の動向と最新測定技術 アンリツ(株) コアテクノロジーR&Dセンター ワイヤレス計測技術開発部長 内野 政治 氏</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="798 963 930 1041">T2</td> <td data-bbox="930 963 1453 1041">13:30~15:30</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="798 1041 1453 1556"> <p>クルマの安全を支える最新計測技術 クルマの安全を支える最新計測技術 電気通信大学 電気通信学部 システム工学科 教授 新 誠一 氏</p> </td> </tr> </table>	T2	13:30~15:30	<p>クルマの安全を支える最新計測技術 クルマの安全を支える最新計測技術 電気通信大学 電気通信学部 システム工学科 教授 新 誠一 氏</p>	
C2	13:30~16:30								
<p>高速ワイヤレス通信と最新の計測技術 Mobile WiMAXの動向と最新の測定技術 アジレント・テクノロジー(株) 電子計測本部 マーケティングセンター WBUマーケット・ディベロップメント・マネージャ 北野 元 氏</p> <p>802.11n/MIMOの最新信号解析技術 日本テクトロニクス(株) 営業統括本部 営業技術統括部 RTSA 営業推進部 AE課 課長 篠瀬 吉男 氏</p> <p>UWB無線の動向と最新測定技術 アンリツ(株) コアテクノロジーR&Dセンター ワイヤレス計測技術開発部長 内野 政治 氏</p>									
T2	13:30~15:30								
<p>クルマの安全を支える最新計測技術 クルマの安全を支える最新計測技術 電気通信大学 電気通信学部 システム工学科 教授 新 誠一 氏</p>									
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="103 1556 220 1635">C3</td> <td data-bbox="220 1556 798 1635">13:30~16:30</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="103 1635 798 2130"> <p>ものづくりを支えるインライン・オンマシン計測 金型内蔵半導体ゲージなどによる 塑性加工プロセスの計測 首都大学東京 システムデザイン学部 教授 楊 明 氏</p> <p>成形・金型工場における インライン計測の実際と効果 山形カシオ(株) 取締役 部品事業部長 鈴木 康平 氏</p> <p>超精密レンズ金型加工機のオンマシン計測 ファインテック(株) 精密技術開発部 主任技師 工学博士(東京大学) 劉 慶 氏</p> </td> </tr> </table>	C3	13:30~16:30	<p>ものづくりを支えるインライン・オンマシン計測 金型内蔵半導体ゲージなどによる 塑性加工プロセスの計測 首都大学東京 システムデザイン学部 教授 楊 明 氏</p> <p>成形・金型工場における インライン計測の実際と効果 山形カシオ(株) 取締役 部品事業部長 鈴木 康平 氏</p> <p>超精密レンズ金型加工機のオンマシン計測 ファインテック(株) 精密技術開発部 主任技師 工学博士(東京大学) 劉 慶 氏</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="798 1556 930 1635">T3</td> <td data-bbox="930 1556 1453 1635">13:30~15:30</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="798 1635 1453 2130"> <p>生産性を高める3次元計測 現物融合エンジニアリング —生産性を高める3次元計測情報活用技術— 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 鈴木 宏正 氏</p> </td> </tr> </table>	T3	13:30~15:30	<p>生産性を高める3次元計測 現物融合エンジニアリング —生産性を高める3次元計測情報活用技術— 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 鈴木 宏正 氏</p>	
C3	13:30~16:30								
<p>ものづくりを支えるインライン・オンマシン計測 金型内蔵半導体ゲージなどによる 塑性加工プロセスの計測 首都大学東京 システムデザイン学部 教授 楊 明 氏</p> <p>成形・金型工場における インライン計測の実際と効果 山形カシオ(株) 取締役 部品事業部長 鈴木 康平 氏</p> <p>超精密レンズ金型加工機のオンマシン計測 ファインテック(株) 精密技術開発部 主任技師 工学博士(東京大学) 劉 慶 氏</p>									
T3	13:30~15:30								
<p>生産性を高める3次元計測 現物融合エンジニアリング —生産性を高める3次元計測情報活用技術— 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 鈴木 宏正 氏</p>									

○テクニカルセミナー

テクニカルセミナー

		A会場		B会場	
11月 7日 (水)	13:00 13:45	TS 1	家電製品における電磁界曝露に関する規格と 磁界測定器 日置電機(株)	TS 2	Introduction and technical overview of HART COMMUNICATION Technology HART COMMUNICATION FOUNDATION
	14:00 14:45	TS 4	脱硝コントロールを最適化する直挿NOxセンサの ご紹介 (株)堀場製作所	TS 5	調節弁メンテナンスサポートシステムによる メンテナンスの最適化と安定操業への取り組み (株)山武
	15:00 15:45	TS 7	CIE統合制御システムCIEMAC-DSの新展開 (株)東芝	TS 8	テキストマイニングツールを用いたPro-Activeな 安全管理 (株)山武
	16:00 16:45	TS 10	次世代計装制御システムへの展開 (株)東芝	TS 11	水質分析計 エンドレスハウザージャパン(株)

		A会場		B会場	
11月 8日 (木)	13:00 13:45	TS 13	拡大する無線センサネットワーク実利用と クロスボーの展開 クロスボー(株)	TS 14	計装機器メーカーからの保守・管理コスト低減の ご提案ーフィールドケア エンドレスハウザージャパン(株)
	14:00 14:45	TS 17	「プロセス管理・安全・経済運転」の為の オゾン濃度測定 荏原実業(株)	TS 18	ワイヤレスセンサネットワークによる安全と環境へ の貢献 (株)山武
	15:00 15:45	TS 21	多項目水質測定器によるCOD他、 廃水の連続測定結果とその用途 荏原実業(株)	TS 22	空調用センサ・バルブの機能高度化による 快適環境と省エネルギーの実現 (株)山武
	16:00 16:45	TS 25	次世代へ繋げるエンジニアリング環境 (株)東芝	TS 26	エンドレスハウザーの温度計 エンドレスハウザージャパン(株)

		A会場		B会場	
11月 9日 (金)	13:00 13:45	TS 29	計装図面を用いた一貫性のある プログラミングツールの提案 島津システムソリューションズ(株)	TS 30	計装機器メーカーからの保守・管理コスト低減の ご提案ーフィールドケア エンドレスハウザージャパン(株)
	14:00 14:45	TS 33	ノイズトラブル解決のためのノイズ測定器と 活用方法 日置電機(株)	TS 34	ヒューマン・センタード・オペレーションによる 生産革新 (株)山武
	15:00 15:45	TS 37	次世代計装制御システムへの展開 (株)東芝	TS 38	音響監視による設備保全の最適化 (株)山武
	16:00 16:45	TS 41	人間の目の機能を電子回路化した 外観検査システム (株)テクノス	TS 42	放射線によるレベル・密度計測 エンドレスハウザージャパン(株)

		C会場		D会場	
11月 7日 (水)	13:00 13:45	TS 3	高温下の現場を志向したプロセス用放射温度計 (株)チノー	/	
	14:00 14:45	TS 6	工場エネルギーコストの削減とCO2排出量削減の両立 横河電機(株)		
	15:00 15:45	TS 9	高精度電力計による省エネ制度、 低周波EMC規格対応の電源試験 横河電機(株)		
	16:00 16:45	TS 12	安全計装システムにおける、保守メンテナンス削減 横河電機(株)	TS 45	FOUNDATIONフィールドバスの技術と動向 その1 NPO法人 日本フィールドバス協会

		C会場		D会場	
11月 8日 (木)	13:00 13:45	TS 15	新しい温度標準と校正技術への取り組み (株)チノー	TS 16	産業用イーサネット最新技術動向とPA・FAIにおける適用事例 ヒルシュマン オートメーション アンド コントロール(株)
	14:00 14:45	TS 19	プラント付帯設備の統合オペレーションで安心操業 横河電機(株)	TS 20	PA・FA分野における安全規格動向と富士電機の取り組み 富士電機システムズ(株)
	15:00 15:45	TS 23	FlexRay物理層波形観測とプロトコル解析 横河電機(株)	TS 24	機能性と信頼性＝PROFIBUS,PROFINETが選ばれる理由 NPO法人 日本プロフィバス協会
	16:00 16:45	TS 27	製造現場を見える化するMES事例 横河電機(株)	TS 28	FOUNDATIONフィールドバスの技術と動向 その2 NPO法人 日本フィールドバス協会

		C会場		D会場	
11月 9日 (金)	13:00 13:45	TS 31	新エネルギー、代替エネルギーに貢献する環境支援装置 (株)チノー	TS 32	オンライン微量分析装置(PCBs・DXNs・不正薬物) (株)日立ハイテクトレーディング
	14:00 14:45	TS 35	インテリジェントフィールド機器による高度診断技術 横河電機(株)	TS 36	MEMS技術とその応用 富士電機システムズ(株)
	15:00 15:45	TS 39	長波長光スペクトラムアナリシスによる環境分野等のデバイス評価 横河電機(株)	TS 40	新型河川モニタにおける通事例のご紹介 東亜ディーケーケー(株)
	16:00 16:45	TS 43	製造現場の今を活かす 現場一経営直結ソリューション事例 横河電機(株)	TS 44	現場計器能力のさらなる活用－IEC 61804-3 EDDL NPO法人 日本フィールドバス協会

○JEMIMA委員会セミナー

JEMIMA委員会セミナー

展示会場内 特設会場 受講料:無料

J1	11月7日(水) 13:30~16:30
広がる校正サービス2007 オシロのJCSS校正と低温域拡大-196℃に向けて 校正事業推進委員会	
[1]オシロスコープのJCSS運用開始について (独)製品評価技術基盤機構 認定センター 関 勉 氏	
[2]オシロスコープメーカーのJCSSへの取り組みについて 岩通計測(株) 品質保証部 品質保証課 課長 酒井 聡 氏	
[3]-196℃のJCSS標準供給拡大に向けて (独)産業技術総合研究所 計測標準研究部門 低温標準研究室 中野 享 氏	
[4]接触式温度計の校正対象品拡大に向けての課題 (株)岡崎製作所 木村 和弘 氏	
[5]広がる?校正サービス ~JCSSの現状と今後の展望について~ (独)製品評価技術基盤機構 認定センター 村田 浩美 氏	
J2	11月8日(木) 13:30~16:30
中国RoHSと欧州化学物質規制の現状 —WEEE/RoHS指令からREACH規則への広がり— 環境グリーン委員会	
[1]環境グリーン委員会の活動紹介 環境グリーン委員会 委員長 澤田 充弘 氏	
[2]中国RoHSの現状 中国RoHS-WG 副主査 山田 泉 氏	
[3]WEEE/RoHS指令のQ&A WEEE/RoHS-WG 副主査 丹羽 直昌 氏	
[4]REACH規則の概要 海外環境規制-WG 主査 酒井 聡 氏	
J3	11月9日(金) 13:30~16:30
計測・制御を支える先端技術 PA・FA計測制御委員会	
[1]無線が変える工場 電気通信大学電気通信学部 教授 新 誠一 氏	
[2]工業用ワイヤレス・ネットワーク技術の最新動向 (株)山武 研究開発本部コアテクノロジーセンター 主席研究員 鄭 立 氏 横河電機(株) IA事業部マーケティングセンター マーケティング室 長谷川 敏 氏 (株)東芝 府中事業所 計測制御機器部 制御機器開発担当 主務 柴田 浩司 氏 三菱電機(株) 情報技術総合研究所 ネットワークセキュリティ技術部 制御ネットワークチーム 専任 桜田 博 氏	
[3]プラントの安全・安心を支えるセキュリティ ~生産制御システムのセキュリティ対策~ PART1: セキュリティを支える標準化動向 横河電機(株) IA事業部システム事業センターソフトウェア技術部 小川 永志樹 氏 PART2: セキュリティライフサイクルを意識した対策の立案 ~SP99に基づいたセキュリティ対策立案の紹介~ (株)山武 ACC エンジニアリング本部 ソリューション技術部 関口 浩 氏 PART3: セキュリティ機能要件の分析と役割分担 ~NIST SPP-ICSを利用した分析の紹介~ 富士電機システムズ(株) 情報・制御センター 制御システム部 長谷川 正美 氏	
[4]機能安全の動向とJIS化 横河電機(株) IA事業部 システム事業センター 安全システム部 マーケティングリーダー 安藤 忠明 氏	



○出展企業/団体一覧

M	電気・電子計測	C	コントロール(PA/FA)	E	環境・分析・バイオ・放射線計	S	センサ・フィールド機器
R	関連製品・サービス	T	トライアルブース	B	書籍販売コーナー	J	JEMIMAコーナー、関連機関紹介コーナー

T IFSジャパン(株)
M アイ・システム(株)
T (株)アクト・ブレイン
S 曙ブレーキ工業(株)
M (株)浅沼商会
E (株)アジレント・テクノロジー
M (株)アドテックシステムサイエンス
M アルファ・エレクトロニクス(株)
M アンリツ(株)
S 安立計器(株)
T 入江(株)
M 岩通計測(株)
T (株)インターソリューションマーケティング
S ヴァイサラ(株)
E ABB(株)
M NEC三栄(株)
M (株)エヌエフ回路設計ブロック
E 荏原実業(株)
T (株)MRT
T (株)エムティアイ
M エム・ティー・エル・インストゥルメンツ(株)
S エンドレスハウザージャパン(株)
M 大倉電気(株)
M (株)大手技研
S (株)岡崎製作所
T 小川技研(株)
S オムロン(株)
S (株)カイジョーソニック
T (株)カスタム
M 菊水電子工業(株)
M (株)九州共販
M 京西テクノス(株)
M (株)共和電業
B (株)技術調査会
C クロスボー(株)
T (株)グレースシステム
B (有)工業技術社
M 広播電子工業(株)
M (株)コスモス・コーポレーション
M サイバネットシステム(株)
M サトーパーツ(株)
J (独)産業技術総合研究所 計量標準総合センター
T (独)産業技術総合研究所 ペンチャー開発センター
T 三友プラントサービス(株)
C シーメンス(株)
S (有)シスコム
M システムデザインサービス(株)
M (株)システムハウス・サンライズ
C 島津エミット(株)
C 島津システムソリューションズ(株)
C 島津製作所(株)
S (株)シマデン
M 新川電機(株)
S 新光電機(株)
S GEセンシング・ジャパン(株)
E (株)スペクトラ・コープ
J 西華産業(株)
T (独)製品評価技術基盤機構 認定センター
S (株)セカンドセレクション
M (株)センサヤマモト
M (株)ソルトン
T (株)タートル工業
T 高千穂商事(株)
T タツタ電線(株)
T ダイキン工業(株)
M (株)チノー
S (株)テクノス
M (株)デジモ
R (株)デンソー
B (株)電波新聞社
E 東亜ディーケーケー(株)
R 東海ビジョン(株)
M (株)東京測器研究所
E 東光計器(株)

C (株)東芝
S 東邦マーカンタイル(株)
M 東洋メディック(株)
T 東和制電工業(株)
R (株)常盤商行
S 長野計器(株)
J (財)名古屋産業科学研究所 中部TLO
M (株)ナックイメージテクノロジー
M ナノグレイ(株)
M 日経BP社
B 日本エマソン(株)
C 日本OPC協議会
S 日本キスラー(株)
B 日本工業出版(株)
T 日本データシステム(株)
J 日本電気計器検定所
M 日本ナショナルインスツルメンツ(株)
C 日本バイナリー(株)
J 日本品質保証機構
M (株)日本ファインケム
C NPO法人 日本フィールドバス協会
C NPO法人 日本プロフィバス協会
M 日本無線(株)
T (株)ニレコ
C (株)ノーケン
R ノリタケ伊勢電子(株)
M 日置電機(株)
C (株)日立ハイテクトレーディング
E (株)平井
S (株)ピーアンドエフ
T ビー・ピー・エス(有)
S (株)フジキン
C 富士電機システムズ(株)
M 富士フィルムビジネスサプライ(株)
R 双葉電子工業(株)
S (株)豊光社
E (株)堀場製作所
M (株)マイクロジェット
T (株)松島機械研究所
M メジャー・アライアンス
M (株)メレック
C (株)山武
S 山里産業(株)
M (株)ユー・アール・ディー
M ユーアイニクス(株)
C 横河電機(株)
M 横河電機(株)
E (株)ラプラス・システム
M リーダー電子(株)
B リード・ビジネス・インフォメーション(株)
M リオン(株)
S 林栄精器(株)
J (株)レーザー計測
J (社)日本電気計測器工業会(JEMIMA)
J JEMIMA 校正事業推進委員会
J JEMIMA 環境グリーン委員会

【CHINA】

M BEIJING TIME HIGH TECH.,LTD.

【GERMANY】

C ヒルシュマン オートメーション アンド コントロール

【KOREA】

S KMC Innosensing Co.,Ltd.

【TAIWAN】

M (株)インステック ジャパン

S FineTek Co.,Ltd.

M TEEMA

【USA】

T DENT Instruments

C HART Communication Foundation

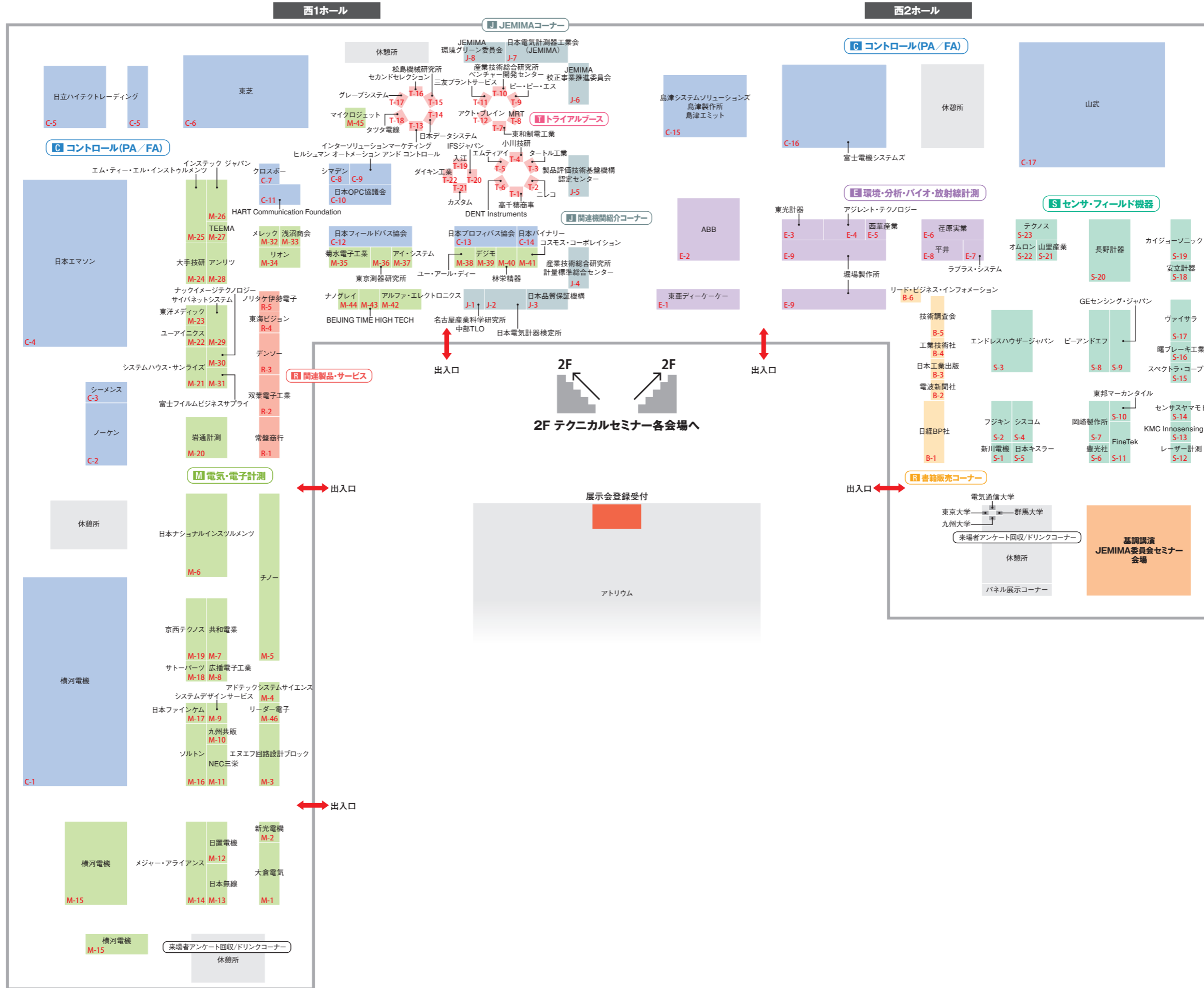
九州大学

群馬大学

電気通信大学

東京大学

○会場案内図



西展示棟1F 1ホール、2ホール

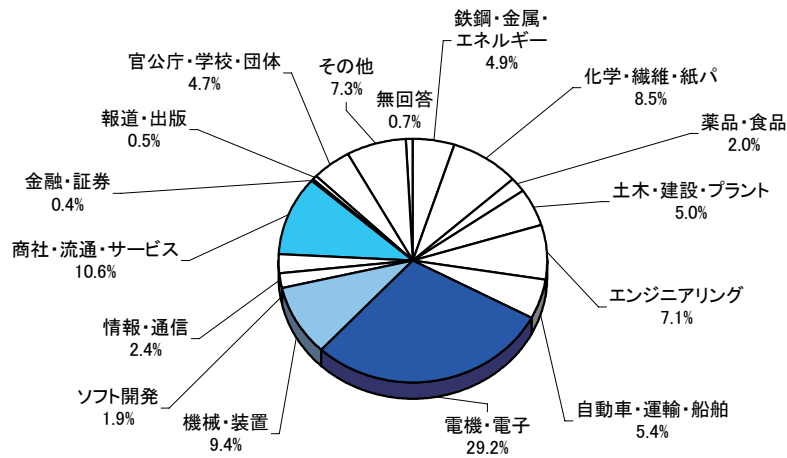
○来場者アンケート結果

◇アンケート結果概要

- 来場者を業種で見ると最も多かったのは「電機・電子」29.2%、次いで「商社・流通・サービス」の10.6%、「機械・装置」9.4%となった。
⇒p14 参照
- 来場者を職種で見ると最も多かったのは「設計・開発」34.1%、次いで「営業・企画・調査」の29.3%。
⇒p14 参照
- 来場者を役職で見ると57.3%が何らかの役職に就いている。
⇒p15 参照
- 来場者の78.4%（「東京」46.2%、「神奈川」16.3%、「その他関東地区」15.9%）が関東圏勤務者であった。また、「北海道・東北」2.5%、「九州」1.2%など、全国からの来場者があることも確認された。
⇒p15 参照
- 来場者の関心分野は、「電気・電子部品」が28.0%で最も多い。次いで「通信技術」23.0%、「検査・テスト」20.1%となった。
⇒p16 参照
- 来場者の担当業務は、「営業・製品企画・商品企画・調査」が27.0%で最も多い。次いで「製品全体の設計」11.6%、「試作・実験」11.0%となった。
⇒p17,18 参照
- 「最新技術動向の情報収集」のために来場した方が、来場者全体の75.4%。「競合他社の情報収集」14.1%、「購入計画のための情報収集」13.8%、「導入、購入するための比較検討」13.7%と、様々な情報収集シーンで計測展2007 TOKYOが役立っている。
⇒p19 参照
- 参考になったゾーンは、「電気・電子計測ゾーン」55.6%がトップ、次いで「センサ・フィールド機器ゾーン」38.0%となった。
⇒p20 参照
- 計測展に関する情報の入手経路としては、「出展者からの案内状」44.8%が最も多い。次いで「JEMIMA・日経BP社からの案内状」14.3%、「日経BP社のWebサイト」10.3%、「日経BP社からのeメール」8.7%となった。
⇒p20 参照
- 来場者の76.4%が、計測展2007 TOKYOの内容を「満足」と評価。来場者の4.4%が「大変満足した」、72.0%が「満足した」と回答し、来場者の満足度の高さを裏付けている。
⇒p21 参照
- 計測展への来場経験を聞いたところ初めての来場者が53.1%、過去の来場経験者が44.0%となった。
⇒p22 参照
- 来場者全体の89.5%が次回の計測展への「来場」を希望。来場者の20.4%が「ぜひ行きたい」、69.1%が「できれば行きたい」と回答し、次回の計測展に対する期待の高さを裏付けている。
⇒p22 参照

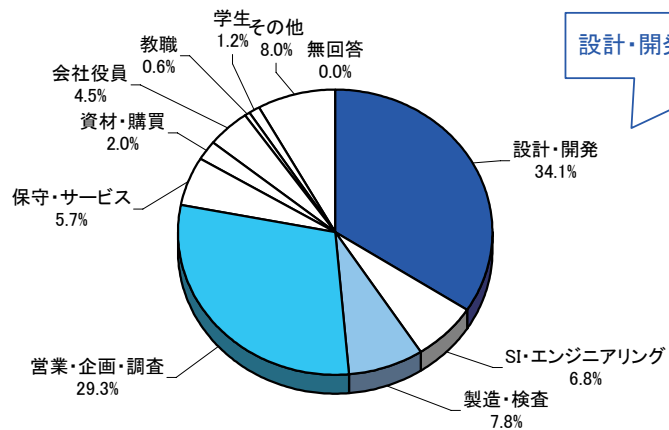
問.あなたが所属する企業・団体の業種についてお答えください

	N=4150	
鉄鋼・金属・エネルギー	202	4.9%
化学・繊維・紙パ	351	8.5%
薬品・食品	83	2.0%
土木・建設・プラント	209	5.0%
エンジニアリング	294	7.1%
自動車・運輸・船舶	224	5.4%
電機・電子	1210	29.2%
機械・装置	392	9.4%
ソフト開発	77	1.9%
情報・通信	101	2.4%
商社・流通・サービス	439	10.6%
金融・証券	16	0.4%
報道・出版	22	0.5%
官公庁・学校・団体	195	4.7%
その他	304	7.3%
無回答	31	0.7%



問.あなたの職種は？

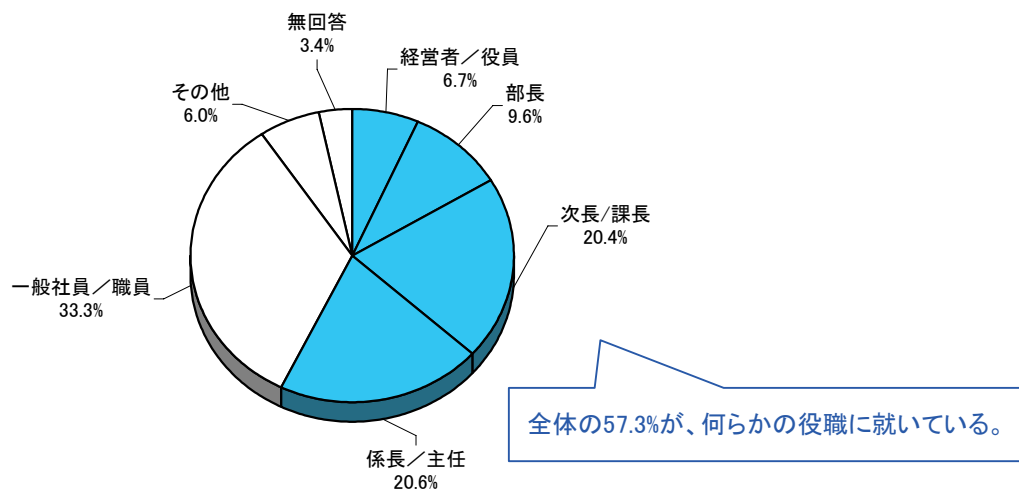
	N=19280(来場者登録データより)	
設計・開発	6572	34.1%
SI・エンジニアリング	1311	6.8%
製造・検査	1507	7.8%
営業・企画・調査	5642	29.3%
保守・サービス	1102	5.7%
資材・購買	384	2.0%
会社役員	871	4.5%
教職	120	0.6%
学生	228	1.2%
その他	1542	8.0%
無回答	1	0.0%



設計・開発が全体の1/3を超えている。

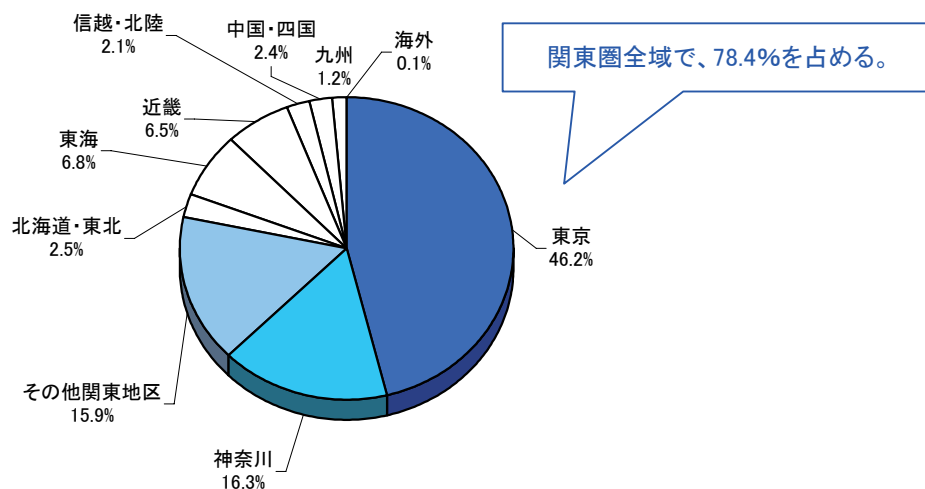
問.あなたの役職についてお答えください。

	N=4150	
経営者／役員	279	6.7%
部長	398	9.6%
次長／課長	847	20.4%
係長／主任	855	20.6%
一般社員／職員	1384	33.3%
その他	247	6.0%
無回答	140	3.4%



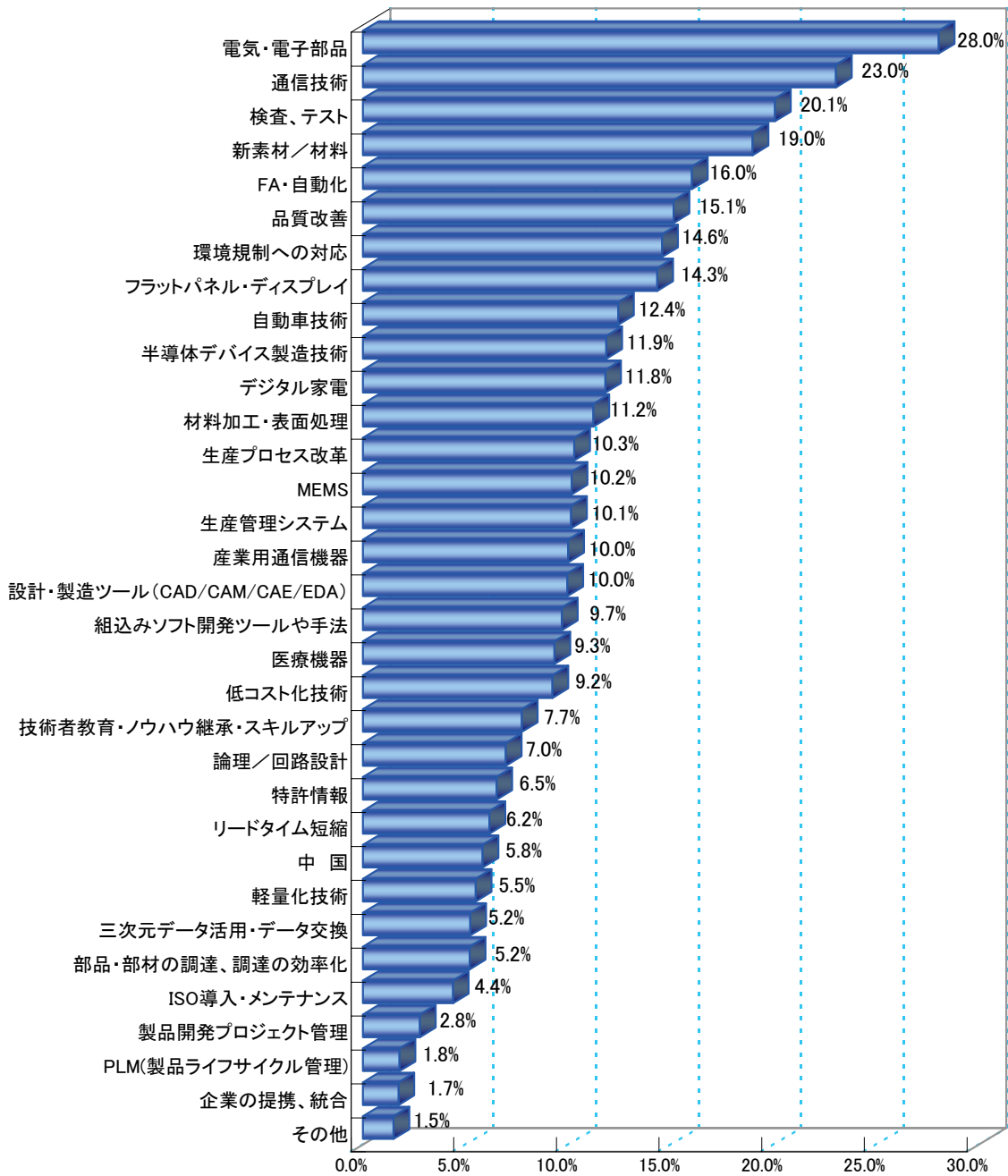
問.あなたの勤務地についてお答えください。

	N=19280(来場者登録データより)	
東京	8914	46.2%
神奈川	3143	16.3%
その他関東地区	3059	15.9%
北海道・東北	485	2.5%
東海	1303	6.8%
近畿	1254	6.5%
信越・北陸	405	2.1%
中国・四国	454	2.4%
九州	235	1.2%
海外	28	0.1%



問. お仕事上、あなたが関心を持っている分野、情報をすべてお選びください。(マルチプルアンサー)

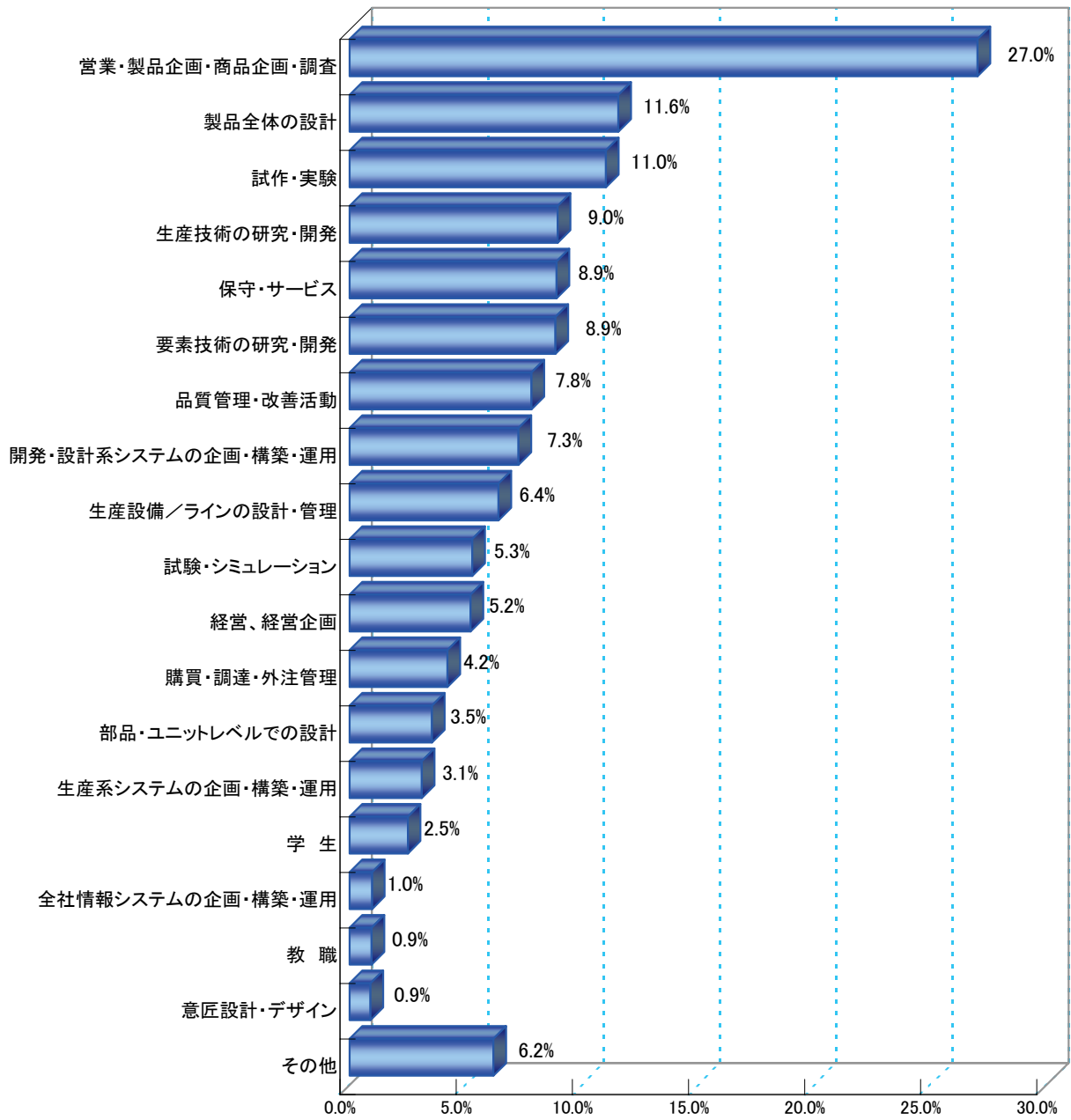
「電気・電子部品」が、ほぼ3割。「通信技術」「検査、テスト」が続く。



問. あなたが担当している業務内容は次のどれに該当しますか。(マルチプルアンサー)

	N=4150	
営業・製品企画・商品企画・調査	1122	27.0%
製品全体の設計	480	11.6%
試作・実験	458	11.0%
生産技術の研究・開発	372	9.0%
保守・サービス	370	8.9%
要素技術の研究・開発	368	8.9%
品質管理・改善活動	325	7.8%
開発・設計系システムの企画・構築・運用	302	7.3%
生産設備／ラインの設計・管理	266	6.4%
試験・シミュレーション	219	5.3%
経営、経営企画	216	5.2%
購買・調達・外注管理	175	4.2%
部品・ユニットレベルでの設計	147	3.5%
生産系システムの企画・構築・運用	129	3.1%
学 生	104	2.5%
全社情報システムの企画・構築・運用	40	1.0%
教 職	39	0.9%
意匠設計・デザイン	37	0.9%
その他	257	6.2%
無回答	35	0.8%

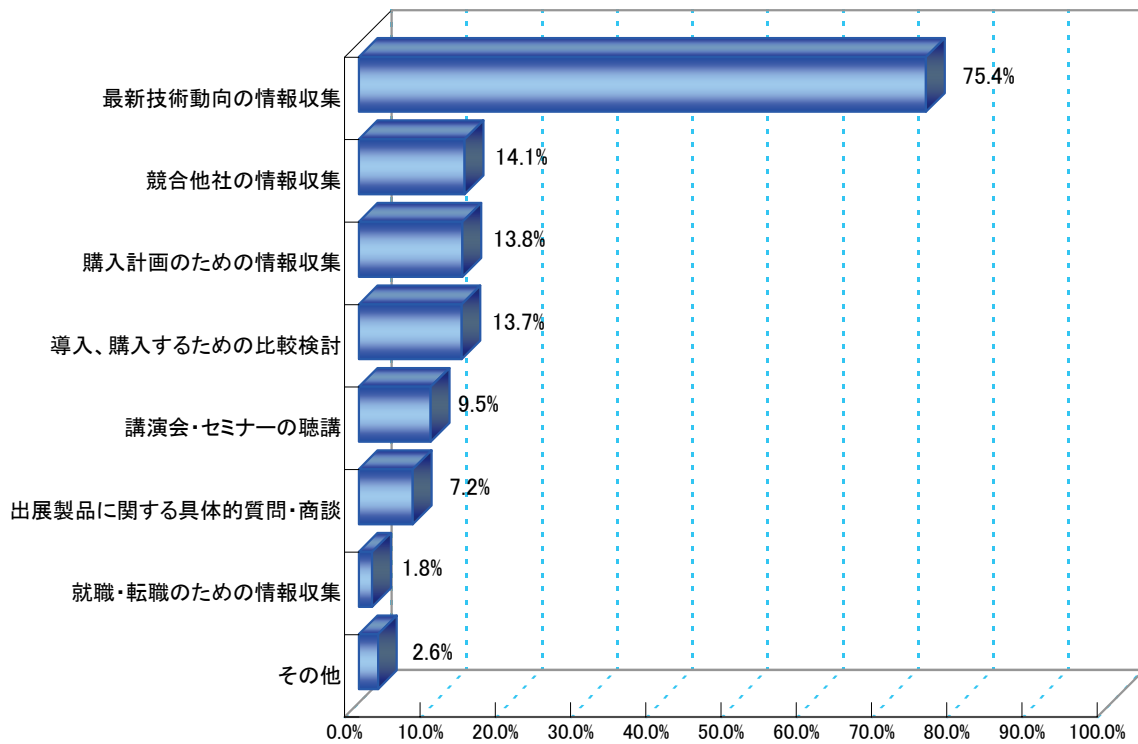
「営業・製品企画・商品企画・調査」が、ほぼ3割。「製品全体の設計」「試作・実験」が続く。



問. あなたが「計測展 2007 TOKYO」に来場した目的で近いものはどれですか。(マルチプルアンサー)

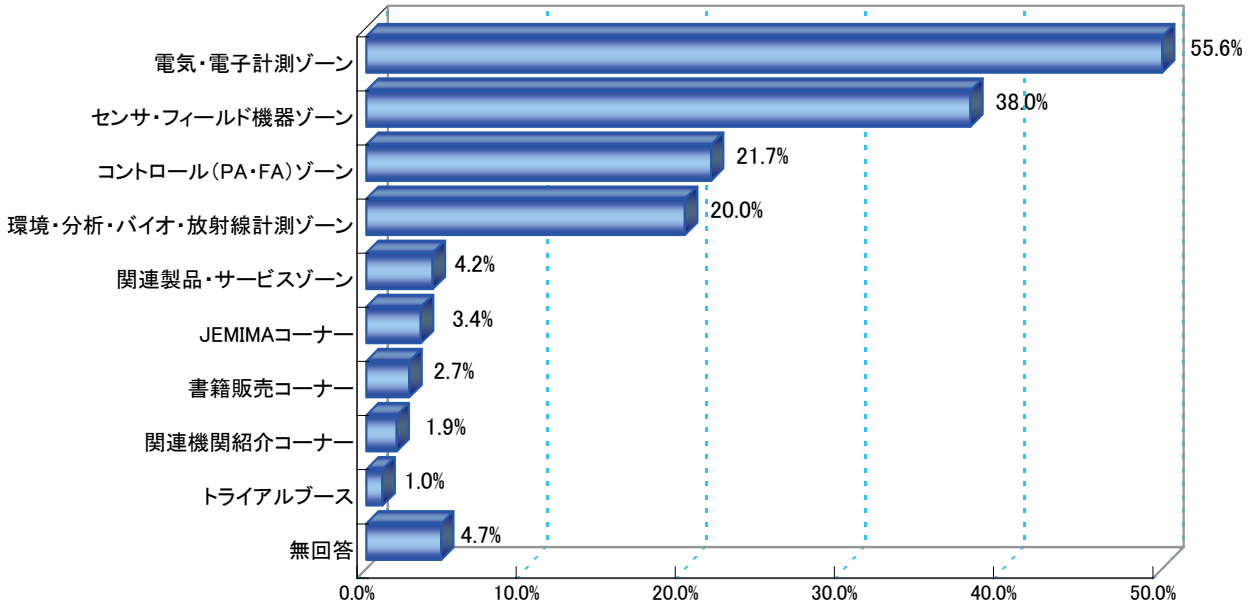
N=4150		
最新技術動向の情報収集	3129	75.4%
競合他社の情報収集	584	14.1%
購入計画のための情報収集	571	13.8%
導入、購入するための比較検討	567	13.7%
講演会・セミナーの聴講	396	9.5%
出展製品に関する具体的質問・商談	297	7.2%
就職・転職のための情報収集	73	1.8%
その他	106	2.6%
無回答	44	1.1%

「最新技術動向の情報収集」が、
4分の3を超えトップに。



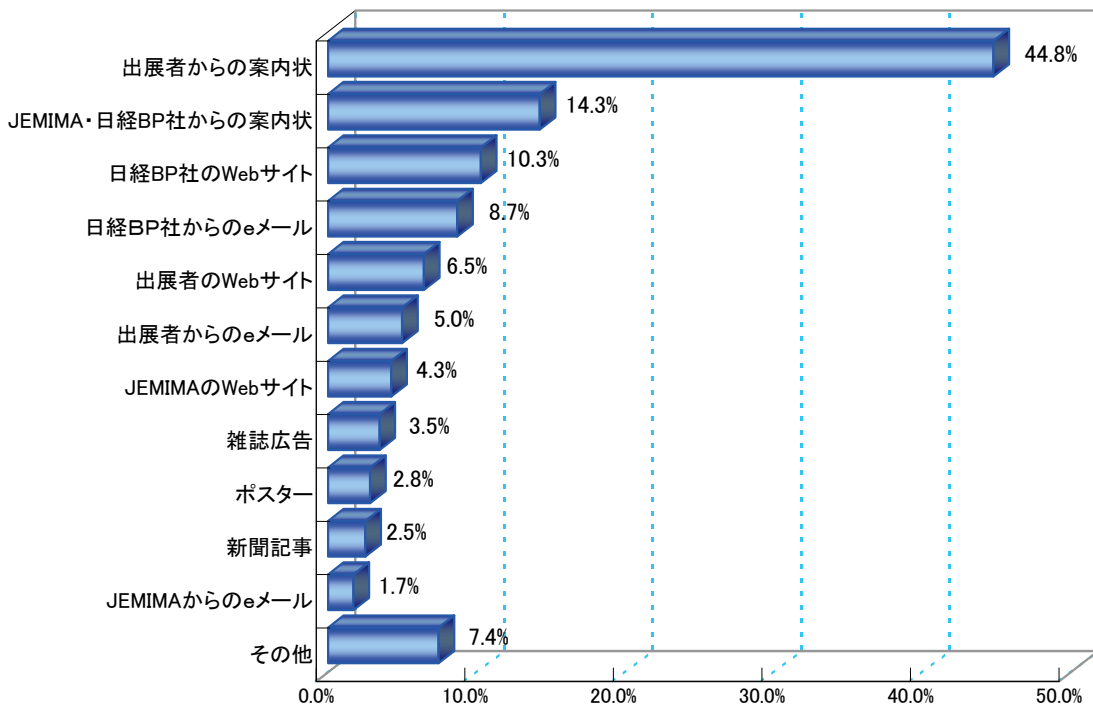
問. 「計測展 2007 TOKYO」であなたの参考になったゾーンはありましたか。(マルチプルアンサー)

参考になったゾーンは、「電気・電子計測」55.6%が「センサ・フィールド機器」を17.6ポイント上回りトップに。



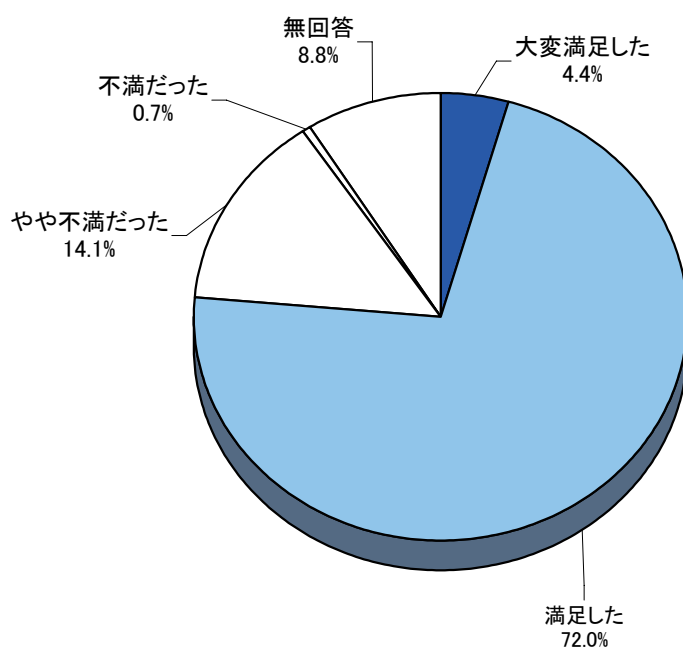
問. あなたは「計測展 2007 TOKYO」に関する情報を何から入手しましたか。(マルチプルアンサー)

「出展者からの案内状」が、44.8%と半数近くでトップに。



問. 「計測展 2007 TOKYO」の展示会内容に、あなたはどの程度満足しましたか。

N=4150		
大変満足した	184	4.4%
満足した	2986	72.0%
やや不満だった	585	14.1%
不満だった	29	0.7%
無回答	366	8.8%



○来場者アンケート調査概要○

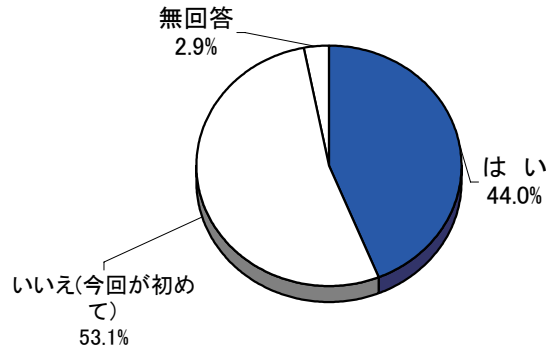
展示会場にてアンケート調査票を配布。
会場内2ヶ所のブースで回収。

回収数: 4,150件
調査: 日経BPコンサルティング

問. 過去に「計測展 TOKYO(旧INTERMAC)」に来場されたことがありますか。

N=4150

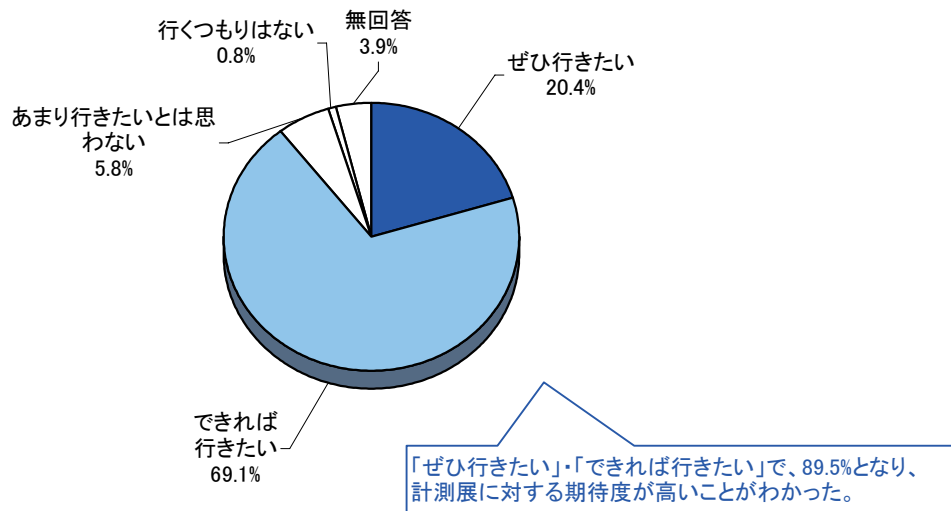
はい	1824	44.0%
いいえ(今回が初めて)	2204	53.1%
無回答	122	2.9%



問. 次回の「計測展」(2009年)にも行きたいと思いませんか。

N=4150

ぜひ行きたい	847	20.4%
できれば行きたい	2868	69.1%
あまり行きたいとは思わない	241	5.8%
行くつもりはない	32	0.8%
無回答	162	3.9%





国内最大の計測・制御技術の専門展

計測展

2007 TOKYO

主催



社団法人 日本電気計測器工業会 (JEMIMA)

〒105-0012 東京都港区芝大門1-2-18 野依ビル2F

Tel 03-5408-8112 Fax 03-5408-0575

Web <http://www.jemima.or.jp/>

共催

日経BP社